

羊とヤギのたとえ話

キー・ヴァース「しかし、人の子が栄光を帯びて来て、御使いたちも皆一緒に来ると、栄光の御座に着かれる。羊飼いが羊と山羊とを分けるように、彼は民を分ける。」

マタイ25:31-32

厳選された聖典

マタイ25:31-46

このたとえは、メシヤ王国の地上段階での働きがいつ、どのように起こるかを示している。たとえ話はこう始まる："人の子が栄光を帯びて来るとき"。人の子」とは、私たちの主イエスのことである。(マタイ16:13、ヨハネ5:26-

27)。人の子とともに、"すべての聖なる天使たちが" "彼とともに" "いる。これがキリストの完成した花嫁である。黙示録14:1-4

このたとえ話の時間枠は、この言葉によって特定される：「そのとき、彼は栄光の座に着く。復活した主が忠実なクリスチャンに与えた約束のひとつに、「わたしもまた打ち勝ち、父の御座に着いているように、打ち勝つ者には、わたしの御座にわたしと共に座ることを与えよう」（黙示録3:21）がある。（黙示録3:21）。この聖句には2つの重要な記述がある。第一に、現在の福音時代に忠実に打ち勝った者すべてに約束された報いは、王国の間、人類を指導し、高揚させる目的で、「王たち、祭司たち」として、彼とともに統治する特権である。（黙示録1:5-6; 20:4-

6）。第二に、このメッセージがヨハネに与えられたとき、イエスは父の王座に「着いて」おられたが、ご自身の王座にはまだ着いておられなかった。

したがって、このたとえは、キリストが
"栄光の御座に座る

"未来の時を指し示している。これは、"すべての聖なる天使たち

"がキリストとともにいるとき、つまり、キリストの花嫁全体が完成したときに起こる。以前、イエスはこの時について弟子たちにこう言われた：「わた

しの父がわたしにお定めになったように、わたしもあなたがたに王国をお定めになる。ルカ22:29-30

このたとえ話の中で、"glory "という単語は、"glory, as very apparent "という意味のギリシャ語から訳されている。使徒パウロは、キリストが "明白な "栄光を受けるとき、それは死に至るまで忠実であった主のすべての従者たちとともにあることを、さらに証明している。私たちのいのちであるキリストが現れる（ギリシャ語では明白になる）とき、あなたがたもキリストとともに栄光のうちに現れるのです。（コロサイ3:4）。この "glory "という単語は、マタイ25:31で "glory "と訳されているのと同じギリシャ語から来ている。

キリストの王国の統治の間、"彼の前にすべての国々が集められる"。すべての人々がキリストの権威を知るようになる。そして王国の終わりには、「羊飼いが羊と山羊とを分けるように、キリストは彼らを分けられる」（マタイ25:32）。（マタイ25:32）。この分け隔てとは、王国の裁きの期間中に、各個

人が「その行いによって」最終的に試され、評価されることを表している。使徒17:31

羊のような者たちは、神の愛、他者を助け、励ますという性質を、王国の間に発展させ、自発的に現したので、王国を受け継ぐことになる。ヤギのような階級の人々は、王国の間、このような性質を何一つ示さず、ただその祝福を自分のためだけに享受する。彼らは永遠に生きることを許されない。黙示録20:12-15